



毎日、積み上げていますか？

「人の一生は重荷を負て遠き道をゆくが如し いそぐべからず 不自由を常とおもへば不足なし ところに望みおこらば 困窮したる時を思ひ出すべし……」

「東照宮御遺訓」

苦勞、苦勞の上に天下人となった徳川家康公の遺訓です。徳川家康は、幼少期から人質として今川家や織田家のもとで過ごすなど、苦勞の多い人生を送りました。特に、人生最大のピンチと言われるのが「三方ヶ原の戦い」です。織田信長と同盟を結んでいた家康は、武田信玄の大軍に攻められ、ほとんど壊滅的な敗北を喫しました。命からがら逃げ帰り、恐怖のあまり脱糞したという逸話が残るほどです。しかし、家康はこの敗北を深く反省し、その反省を生涯忘れないために自分の敗走姿を描かせた「しかみ像」を後の戒めとしたと伝えられています。家康のこのエピソードは、どんなに大きな失敗や挫折を経験しても、それを「ただの失敗」で終わらせず、その後の人生の糧とすることの重要性を教えてください。弱さや失敗を正直に認め、それを乗り越えるための努力を怠らなかったからこそ、家康は最終的に天下を統一することができたのです。この逸話から家康のしなやかな思考や我が身をしっかりと省みることの大切さを感じとってもらえるとうれしいです。



さて、甲府西高校に入学して半年が経とうとしています。高校入学当初に抱いていた夢や目標に向けて邁進していますか？「目標が未来の自分をつくる」。年次集会での話を覚えているでしょうか。自分が目指す目標をできるだけ具体的に持ちましょう。目標が自分の行動を導いてくれます。もし、目標が見つからなければ、さまざまなことへ視野を広げて、積極的に体験してみましょう。思わぬ所に自分が目指す道のヒントや糸口が見つかるかもしれません。みんなの背中を押す言葉を力に変えてください。 1年次主任 渡邊 晃

「できない理由を考えるより、できる理由を考える」 プロスキーヤー 三浦雄一郎

「百聞は一見にしかず」 「案ずるより産むが易し」

「行動は言葉よりも雄弁だ (Actions speak louder than words)」

～10月行事予定～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	水	B	週礼	16	木	B	IB履修相談会(1) 生徒協議会、
2	木	B	芸術鑑賞会(PM文化ホール)	17	金	B	授業公開(1,2) PTA理事会
3	金	B	生徒協議会	18	土		
4	土		preIB土曜講座(1)	19	日		
5	日			20	月	A	ぎずなの日 生徒総会・報告会 あいさつ運動(～10/24)
6	月	A	後期始業式	21	火	A	
7	火	A		22	水	A	週礼
8	水	A		23	木	A	冬季原付免許取得説明会
9	木	A		24	金	A	
10	金	A		25	土		
11	土			26	日		
12	日			27	月	B	生活実態調査②
13	月		スポーツの日	28	火	B	
14	火	B		29	水	B	
15	水	行事	体育祭	30	木	B	
				31	金	B	(11/1ベネッセ総合学力模試・国数英)

保護者の皆様へ

2年次の履修本登録 11月4日(火)が来年度の履修本登録提出日になります。文系・理系のコース選択や選択科目など、お子様の進路選択に大きく関わる登録となります。本登録後は基本的に変更が出来なくなりますので、御家庭で改めてよくご検討ください。何かご質問やご相談がありましたら、早めに担任まで御連絡していただくようお願いします。

☆裏面：1年次所属の先生方に文理選択についてアドバイスをいただきました。来年度履修の本登録の際に参考としてください！

今回1年次所属の先生方に文理選択についてアドバイスをいただきました。来年度履修の本登録の際に参考としてください！
【質問内容 ①高校時代は文系？理系？ ②文理を決めた理由 ③文理選択のアドバイス】

手塚直彦先生 (1組担任) ①理系	②天文物理とか数学とかに興味があり、そういう研究に携わりたいと考えていたので、迷わず理系でした。(また逆に古典や漢文などにまったく興味が持てなかったことも理系に行く後押しをしてくれました。) ③やはりやりたいことが明確にあるなら、それを目指しても良いかと思います。思ったようにいかないこともあったり、こんなはずではなかつと思うこともあるとおもいますが、好きなことを一生懸命努力できたなら、何かはきっと残るのではないのでしょうか。	廣瀬庄一先生 (1組副担任) ①理系	②小、中、高の勉強で、理科がいちばんおもしろかったから、迷わず理系でした。 少年時代は乗り物なんでも大好き！ワクワク！（クルマ、鉄道、飛行機、船、ロケット…）だったので、機械工学系に進むかな、と考えていましたが、高校で化学にハマりました。 ③興味関心ある分野に進むのが常道だとは思いますが。数学や理科が好きなら、得意な人は、理系に向いているでしょう。ただ、数学や理科の教科内容は、これから難易度が上がっていきます。苦手な人は、よく考えて決めましょう。 目指す分野に興味関心をもち、自分の内面にモチベーションがあれば、文系・理系を問わず、苦しい勉強もがんばれますね。
穴山加奈子先生 (2組担任) ①文系	②将来の職業について明確なものがなかったので、とても迷いました。好きな教科だった英語は文理どちらでも同じだけ学べたので、歴史の授業と歴史で学べること（今の世界ができるまでの物語）が好きだったという理由から文系を選びました。 ③自分の「好き」（興味・関心や前向きになれるもの）を大切にすることです。現在得意でなくても、興味関心があるもの、知りたいと思うものであれば根気強く継続的に学べるからです。好きな科目と得意な科目が一致していない場合も多々あります。あまりにもそこが乖離しているのであれば、考える必要はあるかもしれませんが、それをも超えて勉強したい・克服できる方法を見つけて頑張ると決意できるのであれば、「好き」を追うのが良いと思います。家族や先生と相談しながらも、最終的に「自分が選んだ」といえることも大事だと思います。	志村 泉先生 (2組副担任) ①文系	②高校入学時には、すでに音楽教師になりたいと考えていたので、自然と文系を選択しました。受験には絶対に文系でなければならないというわけではなかったのですが、音楽＝文系という意識が強かったので、文系に決めました。 ③受験科目で決定することは大事ですが、何を勉強したいかで決めるよ良いと思います。音楽の道で進みたい人の中にも理系選択をする人がいます。ただ、受験に必要な科目があったりするので、よく注意して決めると良いと思います。
大塩末帆先生 (3組担任) ①文系	②言葉と「話」と日本史が好きだったので迷うことなく文系を選択しました。この時点では職業について特に決まった希望はありませんでした。「作品-文学史-各時代の文化」のように各科目で学んだことを紐付けて楽しっていました。 ③前向きに、納得して選択することが重要です。そのために、まず「意欲・興味」と「能力」の2つの観点で考えましょう。どちらか一つだけの判断は現実に対応できません。特に「〇〇が苦手だから口口にする」という消去法での選択は、自分の選択に前向きにならないのでやめましょう。次に、自分の弱み（リスク）に対する対応策を考え、実行しましょう。どちらの選択肢にも必ず弱みは存在します。それにどう対峙するかを自分自身で考え、引き受けることが「納得」であり、「前向き」な姿勢なのです。	保坂昂佑先生 (3組副担任) ①文系	②教師になりたいなと思っていたので、元々好きで得意分野であった社会科目を教えたいなと思っていました。 ③まず自己分析してみましょう！ 1つめは、興味・関心のあることがなにかいろいろ考えてみて、その中から自分に合った分野を見つけると、進路実現に向けてのモチベーションになると思います。モチベーションを高めることは、進路実現度の可能性を高めてくれる気がします。(鳳凰学で行ったマインドマップみだいなもので、興味関心を書き出すのもいいかなと思います。) 2つめは、進路実現に向けて視野を増やすために、職業や大学等についても調べていいのかなと思います。まだ自分がよく知らない職業に就職・天職があるかもしれません。興味関心のある研究を進学先がしているかもしれません。情報収集をして、視野を広げてみましょう！
中村 光先生 (4組担任) ①文系	②文系を選んだのは、夢である高校教師になるなら1つ教科を選ばねばならず、模試や定期試験で安定して良い点数が取れる国語にしようと思ったからです。そういう数字的なことを抜きにしても、古典（恋愛ものでドロツとした何かを感じられるもの）は好きだったので授業は楽しかったです。 ③なんとなくで選ぼうとしないこと。例えば「物理が苦手だからとりあえず文系かな…」のような理由を第一にして選ぶと、結局文系科目もモチベーションを保てなくなってしまうからです。苦手なものを、より自分が楽しいと思えるほうをじっくり考え抜いて決めましょう。	平本圭子先生 (4組副担任) ①理系	②小学校・中学校・高校と数学（計算や問題を解くこと）が好きだったので、いろいろな分野の数学に触れることができる理系を選びました。中学・高校では数式を使って答えを導く過程に楽しさを感じていました。高校では化学や物理を学ぶ中で数式の重要性を知ることができました。 ③興味・関心の高い分野・勉強していて楽しいと思える分野に進むとよいと思います。数学が好きで理系に進んだ訳ですが、勉強することが楽しいと感じることができたから、今があるのだと思います。
小林康仁先生 (5組担任) ①文系	②「機械よりも人と仕事がしたい」「自分が何か技能や能力を得てお金をもらいたい」という2軸があったので、自然と文系でした。③ただ、それは考えとして不十分でした。理系でも大部分の仕事は人との仕事になるし、理系こそ専門技能が必要でした。自分の性質だけで決めても、結局人は変わるし、社会も変わっていきま。 (どこかのタイミングでそのことに気付きはするのですが、今のところ不満はないので、思慮の足りない選択だったにしろは良い人生を送っていてラッキーです) そこからの助言とするならば、何でもいので一生機われそうなことを探しましょう。「仕事の中の一部」でもよいし、「仕事時間のすべて」でもよいと思います。エグザイルが好きすぎてステージ経営会社に入った人もいます。お金って大事な、と思い経済を学んで商社に入った人もいます。車が好きで、機械設計会社に入った人もいます。医療ドラマが好きで看護師になった人もいます。人に教えることが好きで、英語が苦手ではなかったただでここにいます。その道中に必要なスキルを学べる分野に進みましょう。	望月靖公先生 (5組副担任) ①理系	②理系を選んだのは、自然の仕組みや身の回りの現象を“なぜ？”と考えるのが好きだったからです。理科や数学を通して、その答えを自分の力で確かめられるのが楽しくて、もっと深く学びたいと思いました。理系を選ぶことで、将来も自分の好奇心を活かせると感じたからです。 ③文理選択は「好き・得意」を基準に考えることが大切です。将来の進路を大まかにイメージしておくで安心です。迷っても努力次第で道は開けるので、自信を持って選びましょう。

